

Q3-58 (No337)

厳しい環境における塗装系(C-4, 熔融亜鉛メッキ+全面フッ素塗装, 亜鉛アルミ溶射+全面フッ素塗装)の塗替えについて,

[質問-1]2種ケレンではだめですか。

[質問-2]2種ケレンで行った場合、耐久年数を何年間か割り引いて考えるのですか。

A:塗替えは1種ケレンを原則として C-3 塗装系で全面再塗装を行えば、その後の耐久性はさらに30年期待できると考えています。

回答-1:一般的な仕様としては可能ですが、塗替え後に30年の耐久性は確保できません。新設後の塗替え到達時期は防食効果が消滅する期間(劣化面積0.3%)で設定しており、塗替え時の発錆の率は高く、防錆下地のジンクリッチペイントは劣化していると考えられます。したがって、塗替えのC-3塗装系は鋼材面まで露出させて有機ジンクリッチペイントを塗装する系ですが、現地で動力工具を用いる2種ケレンでは既存のジンクリッチペイント塗膜を広い範囲で全面的に除去することは難しいと考えます。新設後の塗替え時期を早めないと塗替え後の耐用年数が極端に短くなる恐れがあります。

回答-2:発錆が進行した被塗物の塗り替えになる場合が多いため、1種ケレンよりは耐用年数を割り引く必要があります。耐用年数の割り引くについては、ケレンの程度によりバラツキが生じます。

【製作小委員会】